

かもう公民館 図書室だより

平成28年度 7月号
蒲生公民館図書室 ☎52-1771

7月 (文月 ふみつき)

大暑(たいしょ)は新暦7月23日頃から8月7日頃(立秋)までの15日間で、暦の上で最も暑さが厳しくなる節気です。この頃から夏休みが始まりますが、近所で聞こえる子供たちの元気な声は本格的な夏の到来を感じさせてくれます。

(参考資料:「12か月のきまりごと歳時記」)



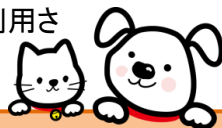
平成28年度 課題図書のお知らせ

いよいよ夏休み。今年も各読書感想コンクールの課題図書が決定しました。蒲生公民館図書室では、夏休み中特設コーナーを設け、以下の課題図書の貸出を行っています。



西日本読書感想画コンクール
青少年読書感想文全国コンクール
桐鳩十文学記念館賞全国読書感想コンクール

※課題図書は、夏休みの間たくさんの方に利用されます。返却期限を守ってご利用ください。



●7月カレンダー

7月カレンダー						休室日
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

開室日：火～日曜日
(月曜・祝日は休室)
開室時間：9:00～17:00
(12:00～13:00は休室)
貸出冊数：図書10冊・雑誌2冊
※貸出増冊施行期間 8月31日まで
貸出期間：15日間

新着図書のご案内

※中央・加治木の本も予約できます。

始良市立図書館ホームページ
<http://lib-airajp/>

「浮雲心霊奇譚2 妖刀の理」 神永学 著



時は幕末、動乱の世の怪事件を、一人の「憑きもの落とし」が人知れず解決へと導いていた。「心霊探偵八雲」のルーツを描く怪異謎解き時代劇、待望の第2弾。

人を最期に救うのは、医学か宗教か。内科医であり僧侶であり、そして末期がん患者でもある著者が、生と死の見つめ方の本質を説く一冊。



「いのちの苦しみは消える」
田中雅博 著

「このあと どうしちゃう？」 ヨシタケシンスケ 作



しんだらどうなる？ どうしたい？ いきてるあいだに考えてみよう。人気絵本作家ヨシタケシンスケが「死」をテーマに挑む、発想えほん第3弾。

一般書

「撤退戦の研究」 半藤一利
「介護がいらなくなる驚異のリハビリ」 山下哲司
「KANA'S STANDARD 2」 佐藤かな
「それでも猫は出かけていく」 ハルノ宵子
「王とサーカス」 米澤穂信
「我が家の内輪話」 三浦朱門

児童書

「うめじいのたんじょうび」 かがいひろし
「王子とこじき」 M.トウェイン
「魔法科高校の劣等生 17～19」 佐島勤

今月の特設展示コーナー

【特集 夏休み！自由研究☆】

夏休みの課題といえば、自由研究。図書室には、自由研究や工作、調べ学習に役立つ図鑑や資料が多数揃っています。ぜひご利用ください。



蒲生公民館図書室利用者 おすすめの本

*「芸術と科学のあいだ」

福岡伸一 著

ガリレオ、ニュートン、ダーウィンなど、多くの科学者が世の中の美しいものと科学を融合させ、近代科学を進展させてきました。この本は、芸術に対する多面的な捉え方と、その美が織りなす科学的根底を読者に教えてくれる一冊です。(ペンネーム・山田山野草さん)

芸術と科学のあいだ

【著者紹介】

福岡伸一(ふくおかしんいち)

生物学者。2007年に発表した『生物と無生物のあいだ』は、サンデー学芸賞、および中央公論新書大賞を受賞し、67万部を超えるベストセラーとなる。フェルメールの熱心なファン。